



発行者：
下関深坂さくら友の会
下関市横野町 1-13-1
TEL:0832-58-3277
HP: <http://WWW.h2.dion.ne.jp/yasuokac/sakura>

第3回定期総会 7月13日



「さくら友の会」の総会が7月13日(日)、深坂自然の森にある「森の家」で開かれました。室内会議場は、他の団体が先に借りていたため、屋外で行われた。

出席者四二名、総会は手際よく進められ約20分で終了。直ちに第1回定例会に切りかえ、草刈作業を行いました。皆もそのつもりで、完全武装して出席しています。出勤前にまず準備体操。これも前々回から恒例化しています。作業の後は、広場でバーベキューをしました。暑い時に、汗を



かき、暑いバーベキューで暑さを吹き飛ばす。そういえば「熱時熱殺」などという四文字熟語があった。「同じ釜の飯を食う」こんな諺もあった。老いも若きも、男も女も和気藹々のひとときでした。(2、3面)



第1回「深坂さくらえ」4月6日



今年からさくら友の会主催の桜祭りを行うことになった。その第1回「深坂さくらえ」が4月6日、丁度満開を迎えた深坂の森で行われた。

ウォーキング、句会、昼食を挟んで大声大会、などが開かれた。

それらの準備は会員交流部会が中心になつて行ったが、中でも津田和子さんの働きには目を見張るものがあつた。ゲームの企画から、会場の飾りの大道具、小道具の製作、ゲームの賞品準備など一手に引き受けられて、周囲を不安がらせるほどであつた。しかし、当日、想像以上の準備に一同安心すると共に、その働きにあらためて感謝した。



ウォーキングは「健康コース」と「健康コース」が準備されていた。健康コースは見晴らし台までの往復、俳句を作る課題が与えられている。



健康コースは、植物に詳しい平野氏夫妻の案内で、植物探索を行った。樹木の葉を取って、その葉脈を観察し、葉を折り曲げて匂いを嗅ぐ。

専門的な説明に、皆熱心に聞き入った。



大した距離を歩いたわけではないが、色々な樹木や野草の名を聞いた。皆が一樣に感心したのがマムシグサだ。独特な形をしており、茎の部分には丁度蛇のような模様がある。



第一回の「深坂さくらえ」、自画自賛かもしれないが、特色が出てきて楽し、成功であった。

桜四方山

「深坂さくらえ」では、ウォーキングしながら、俳句を作つると言う課題が与えられていた。せっかく応募されたのに発表されないのでは張り合いがない。そこで、玉石を問わずこのコーナで披露することにした。さくら咲く人の心にときめきを・さくらえやみさかの森はこだまする・うららかなみさかのもりへさくらめで・さくらえは顔もほころび足かろし・あいさつを交わす言葉に映える桜(はな)・風に舞う花びらひとつ髪飾り・さくらえやあたらしきとききたれりや・桜晴れこころとからだりフレッシュ・そよ風にピンクが踊る深坂池・さくらえに集いて明日に希望(ゆめ)つなぐ・桜舞う深坂の森に子等の声・深坂路(みさかじ)に希望(ゆめ)が舞い散る花嵐(はなあらし)・深坂路は皆の希望(ゆめ)のせ花嵐(はなあらし)・深坂路に夢と希望の花吹雪・汗だくで刈つた深坂よさくらえよ・深坂路を遠く眺めるやまざくら・さくら咲く年に一度の晴れ舞台・早く咲け祈る記念の手植え花・春らんまん深坂さくらえ汗のあと・植えし人の喜び浮かぶ花見坂・手を添えて小さき花の芽さくらえに・(三頁)